

**資料 3****国営飛鳥歴史公園（高松塚周辺地区）の現状と課題**

# 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園の概要

- 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園は、我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、都市公園法に基づき、閣議決定を経て事業化、設置（〇号国営公園）。
- 飛鳥区域（奈良県高市郡明日香村）と平城宮跡区域（奈良県奈良市）の2区域から構成。

## 【位置図】



## 【飛鳥区域設置の経緯】

昭和45年	祝戸・石舞台・甘櫨丘地区の3地区を国営公園として閣議決定。翌年より整備着手。
昭和49年	祝戸地区開園。
昭和51年	石舞台地区開園。 高松塚周辺地区を国営公園として閣議決定。
昭和55年	甘櫨丘地区開園。
昭和60年	高松塚周辺地区開園。
平成6年	全面概成開園式典。
平成13年	キトラ古墳周辺地区を国営公園として閣議決定。
平成28年	キトラ古墳周辺地区開園。

# 飛鳥区域各地区の有する機能

【飛鳥区域位置図】



飛鳥古京を望む甘樫丘地区  
(展望及び散策機能)



稲渚の棚田を望む祝戸地区  
(展望及び宿泊研修の拠点的功能)



特別史跡石舞台古墳を有する  
石舞台地区 (史跡鑑賞機能)



特別史跡高松塚古墳周辺に位置する高松塚周辺地区  
(史跡や古墳壁画の鑑賞の利便に供する機能・管理機能)

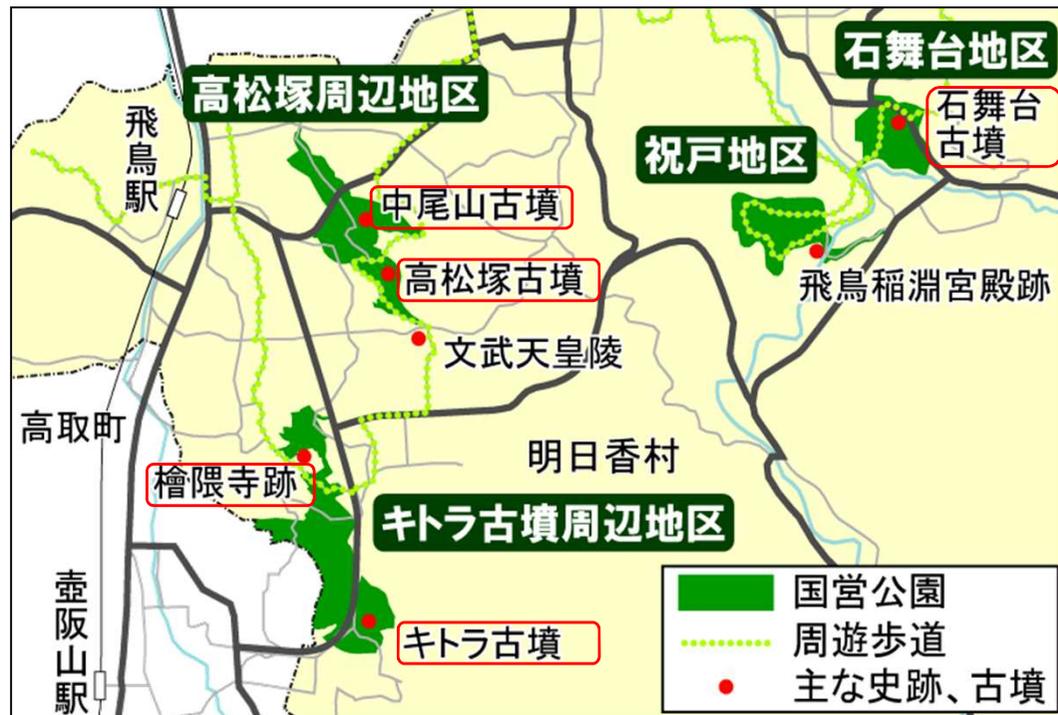


特別史跡キトラ古墳の周辺に位置するキトラ古墳周辺地区  
(史跡鑑賞及び体験学習機能)

# 公園をとりまく情勢の変化

- 令和2年より奈良県や明日香村等の周辺自治体が連携し、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の令和7年度の世界遺産登録を目指して取り組みが進められている。
- 構成資産候補の一部として、当公園の区域内または隣接地には5箇所の資産が存在。
- 園内で保存されている「高松塚古墳壁画」について、文化庁が設置する「古墳壁画の保存活用に関する検討会」において、新たな保存管理活用施設のあり方について検討が進められている。

【世界遺産構成資産の候補（国営公園関係）】



【古墳壁画の保存活用に関する検討会資料】



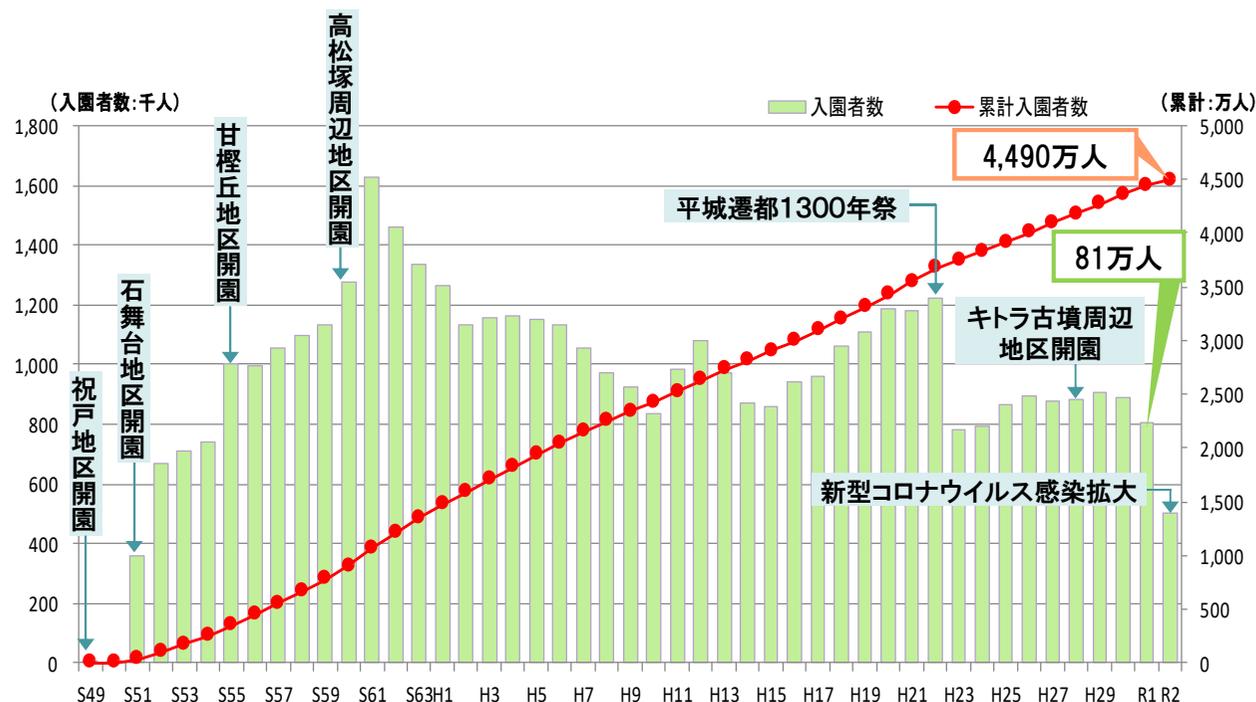
出典：高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）基本構想

石室石材の移動リスクが最小限となるなどの理由から、高松塚周辺地区北西エリアでの整備に向けた検討・調整を進めることが望ましいとされている。

# 飛鳥区域の利用状況

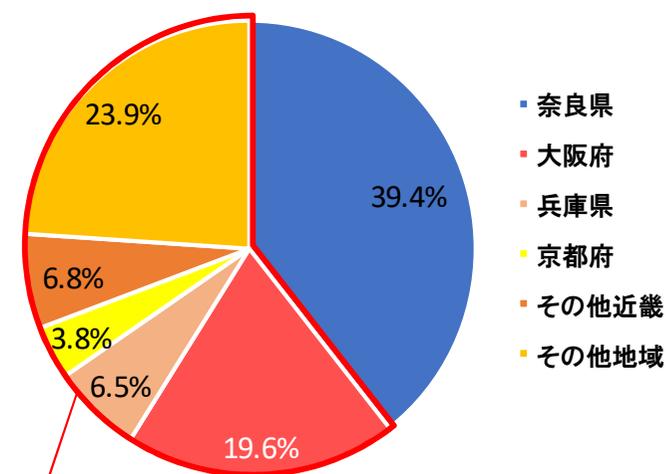
- 飛鳥区域は昭和49年度の開園時から令和2年度までの来園者数累計は4,490万人である。
- 近年の来園者数は80万人前後で推移している。
- 奈良県外からの来園者が半数以上、近畿圏外からの来園者は約24%（令和元年度）と、広域的な利用も多い。

【入園者の推移】



【広域的な集客実績】

飛鳥区域への来園者の居住地



県外からの来園:61%

出典:令和元年度国営飛鳥・平城宮跡歴史公園利用実態調査

# 高松塚周辺地区の概要

- 高松塚周辺地区は壁画発見により、国営公園としての追加が閣議決定。昭和60年10月に開園。
- 「高松塚周辺地区基本計画及び基本設計」(S52)により、以下の位置づけ及び機能が示されている。

## 【高松塚周辺地区の位置づけ】

- ① 利便性が高いこと、飛鳥駅前広場の整備、ならびに総合案内所の設置等を加味すれば、「飛鳥」の玄関として位置付けられる。
- ② 来訪者の集散・休息の拠点としての機能が最も強く要求される地区である。
- ③ 4地区の総合管理所が設けられることにより、より中枢的機能を有する公園として位置付けられる。

## 【高松塚周辺地区の主要な機能】

遺跡・文化財の保存

遺跡・文化財の鑑賞

地域景観の保全

集散・休息

眺望・散策

## 【高松塚周辺地区の整備経緯】

昭和47年 高松塚古墳において遊歩道整備に伴う発掘調査で極彩色壁画が発見された

昭和48年 高松塚古墳が特別史跡に指定される

昭和49年 極彩色壁画が国宝に指定される

昭和51年 国営公園として追加されることが閣議決定

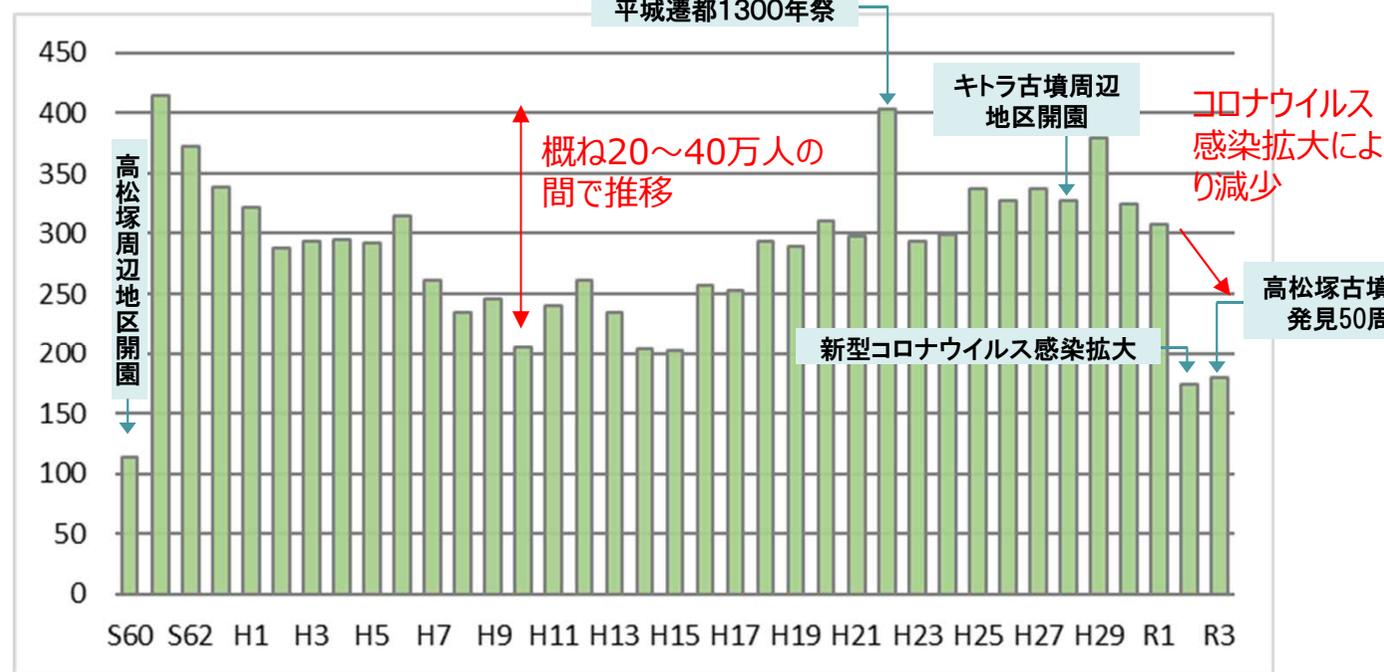
昭和60年10月 開園

# 高松塚周辺地区の利用状況

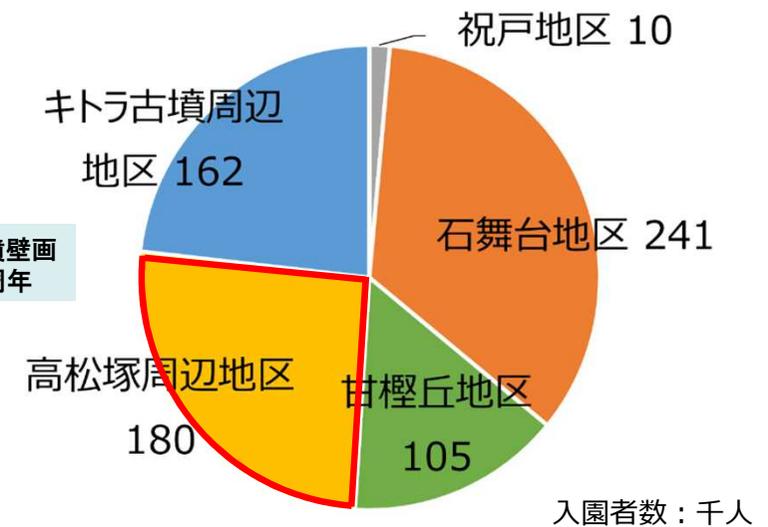
- 高松塚周辺地区は、石舞台地区に次いで、キトラ古墳周辺地区と並び利用者の多い地区である。
- 開園以来入園者数は20～40万人の間で推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、入園者は減少している。

【高松塚周辺地区の入園者の推移】

入園者数：千人



【飛鳥区域の入園者内訳 (R3年度)】



# 高松塚周辺地区の主要施設

【供用面積】 9.1ha

【主要施設】飛鳥歴史公園館（公園事務所）、セミナー棟、高松塚壁画館等



# 飛鳥歴史公園館の現況

- 飛鳥歴史公園館は、飛鳥歴史公園 5 地区の案内や飛鳥地方の史跡や歴史の紹介を行う飛鳥周遊の起点施設となっている。
- ジオラマを活用した展示等が利用者に好評であるが、施設の老朽化や来館者の減少がみられる。



ジオラマを活用した案内展示



動画の視聴コーナー（タブレット）



飛鳥に関する歴史物語をわかりやすく解説する「飛鳥歴史アニメ」や、タッチパネルコンピュータで見る「飛鳥百景」などが視聴可能

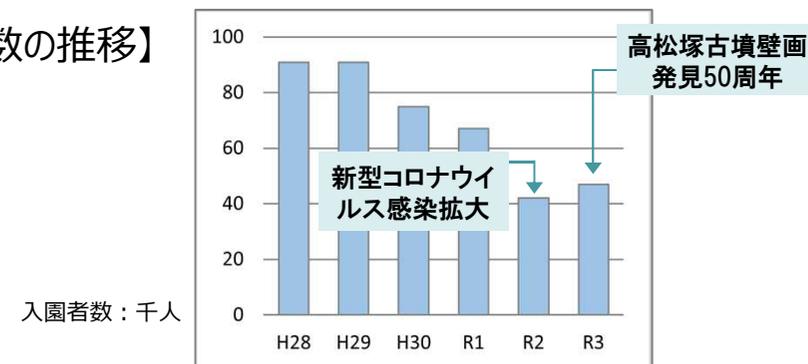


飛鳥歴史公園館の外観



休憩スペース

【来館者数の推移】



- 高松塚壁画館は、(公財)古都飛鳥保存財団が管理運営を行う有料施設であり、壁画の模写や石槨の原寸模型、副葬品のレプリカ等の展示・解説を実施している。
- 昭和52年の開館より約45年が経過している。



高松塚壁画館の外観

入館料 (R5年1月現在)  
大人300円 高・大学 130円 小・中学 70円



高松塚壁画館の展示状況

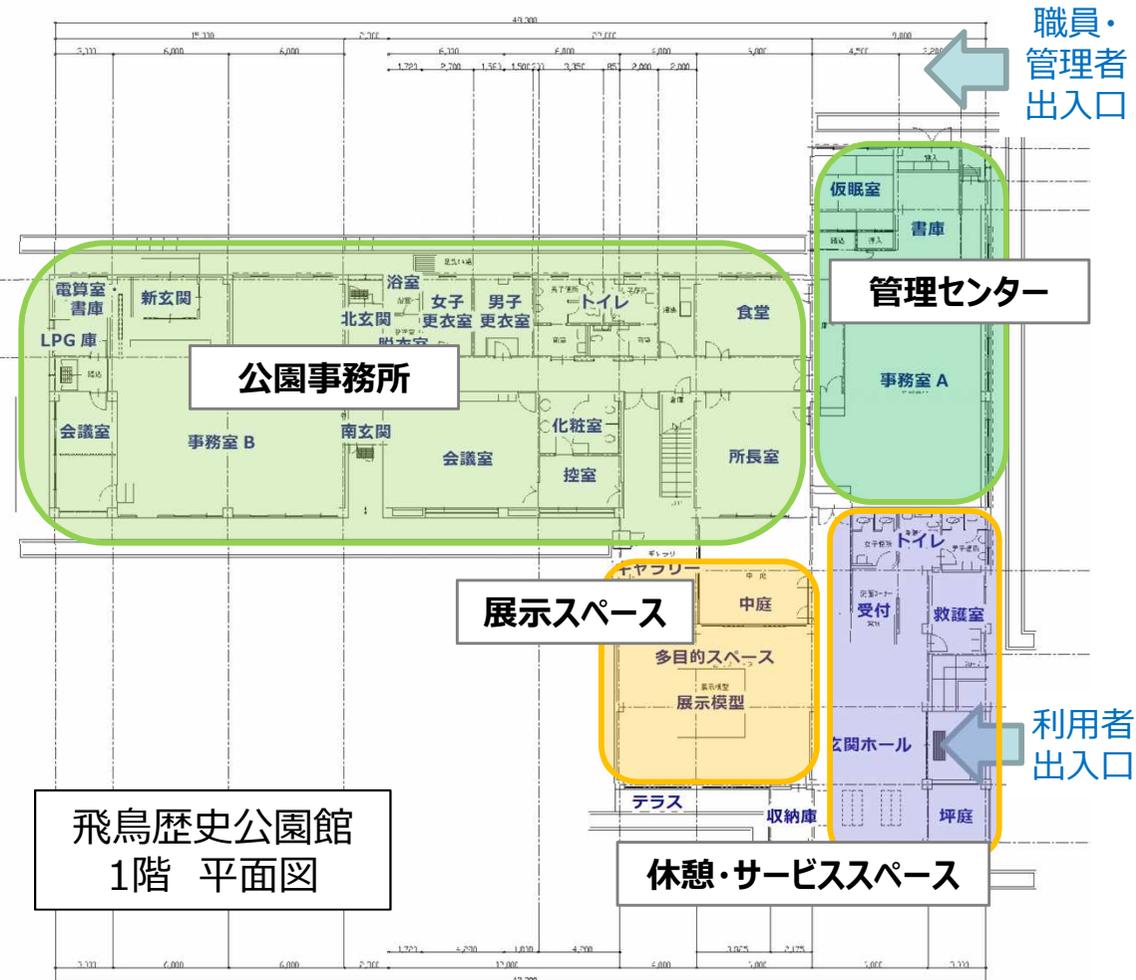
壁画の模写、復元模写、再現模造模写、墳丘の築造状態、棺を納めていた石槨の原寸模型、副葬されていた太刀飾金具、木棺金具、海獣葡萄鏡などのレプリカを展示・解説。

# 管理運営拠点（公園事務所・管理センター）の現況

- 国営飛鳥歴史公園事務所（公園事務所）では、国営飛鳥・平城宮跡歴史公園の整備及び維持その他の管理を行っている。
- 管理センターは、公園の管理運営を行う維持管理運営事業者の執務スペースであり、公園事務所とともに飛鳥歴史公園館と同建物内に設置されている。



公園事務所（管理センター）の出入口及び職員  
駐車スペース



# ボランティア拠点の現況

- 本地区は飛鳥区域におけるボランティア活動の拠点となっており、主にセミナー棟を中心施設として200名以上のボランティアが活動している。
- 体験講座の運営や飛鳥区域の里山管理、国蝶であるオオムラサキの保護・育成、地区内の花修景など様々な活動が実施されている。



ボランティアによる  
体験講座の運営



甘檜丘で実施されている  
オオムラサキの放蝶会



ボランティア活動の拠点となっているセミナー棟



ボランティアによる園路沿いの花修景

# 地区内の現況

- 飛鳥の歴史的風土※の保存を目的とし、周辺景観と調和した公園づくりを実施している。これらの環境は多様な生物の生息場となっている。



高松塚古墳周辺の  
保全整備

- 地域住民の日常的な利活用の場として、芝生広場や散策路、眺望を活かした施設等の整備を実施している。



バリアフリーに配慮  
した散策路



多様な生物の生息  
場となっている修景  
池等の水辺



眺望を活かした  
休憩スペース

※「歴史的風土」とは・・・

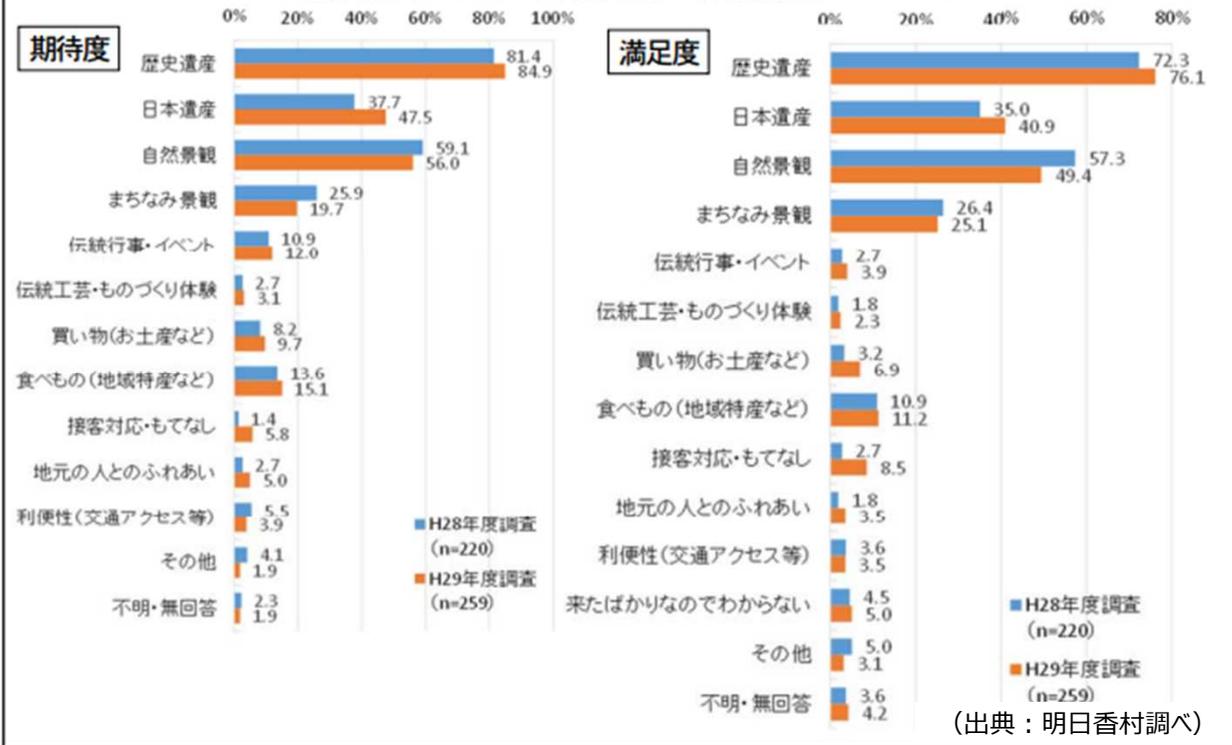
わが国の歴史上意義を有する建造物、遺跡等が周囲の自然的環境と一体をなして、古都における伝統と文化を具現及び形成している土地の状況。

# 飛鳥周遊における国営飛鳥歴史公園の役割

- 飛鳥周遊に対する観光客の期待度は、「歴史遺産」「日本遺産」「自然景観」が満足度とともに高く、本公園の主な利用目的である「史跡見学、歴史学習」「風景を楽しむ」「散歩」と合致している。
- 明日香村内の主要観光施設のうち、「石舞台古墳」には観光客全体の約25%が訪れている。また、平成28年9月に開園したキトラ地区の「四神の館」は年間15万人以上の集客があり、本公園は飛鳥周遊における主要な観光施設として活用されている。

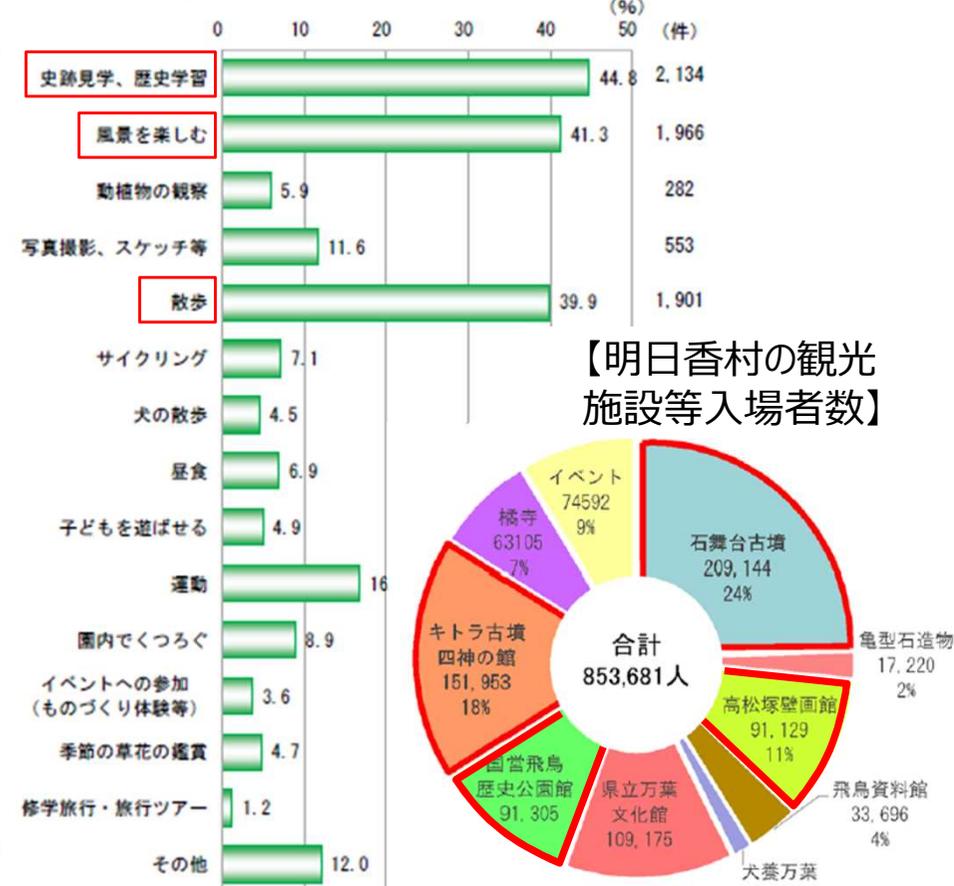
【明日香村への来訪動機・観光した感想】

## 観光客における期待度・満足度について



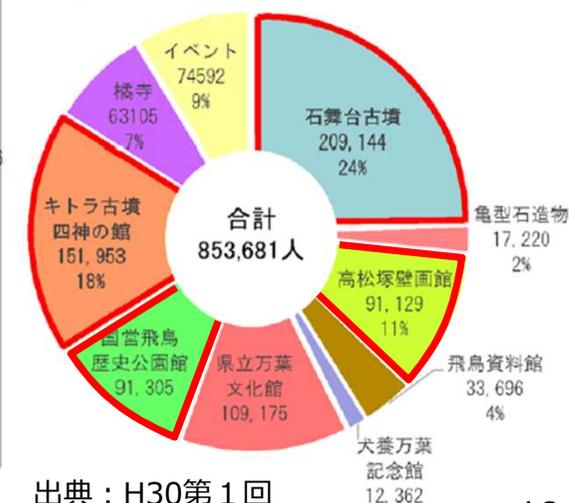
出典：明日香まるごと博物館地域計画

【本公園の利用実態】



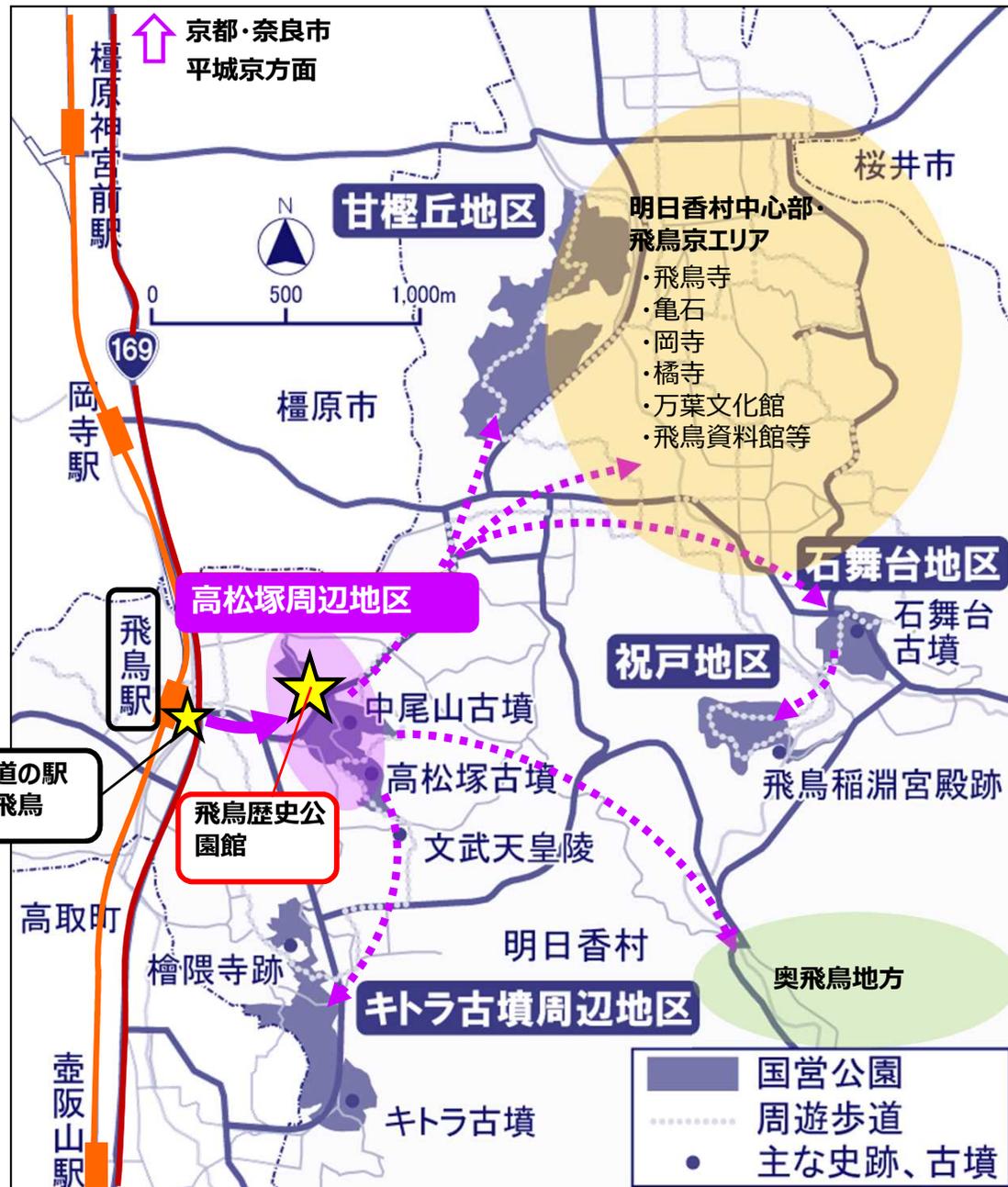
出典：令和3年度利用実態調査結果

【明日香村の観光施設等入場者数】



出典：H30第1回明日香村小委員会資料

# 飛鳥周遊における高松塚周辺地区の役割



- 「飛鳥駅」は、公共交通機関を利用した飛鳥周遊の主要な起点となっている
- 駅に隣接した「道の駅 飛鳥」の整備（H30）によりマイカー利用者向けサービスも展開されている
- 高松塚周辺地区は飛鳥駅・道の駅に近く、また明日香村中心部へ向かう幹線(県道)が地区を貫通している

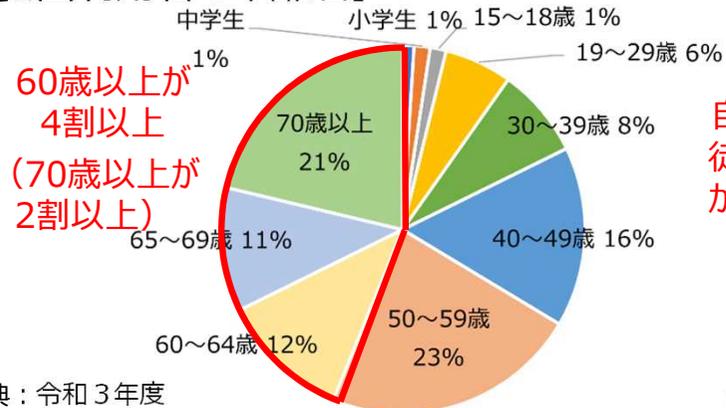


飛鳥駅前

# 国営飛鳥歴史公園の抱える課題

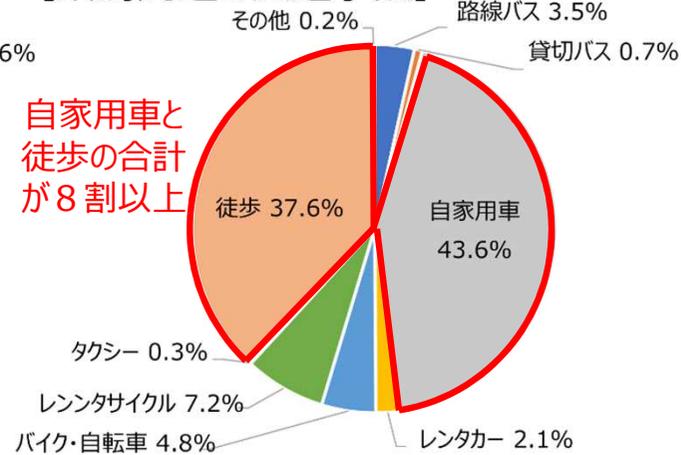
- 60歳以上の利用者が4割以上であることや利用者意見等から、バリアフリー対応の充実が求められる。
- 飛鳥周遊の交通手段は「自家用車」と「徒歩」の合計が8割以上を占めており、「駐車場等の不足」や「案内看板等の不足」に対し、改善を求める利用者意見が多くなっている。
- 公園の機能向上では、「歴史情報の充実」「トイレ・休憩施設の整備」を求める意見が多くなっている。

【公園利用者の年齢層】



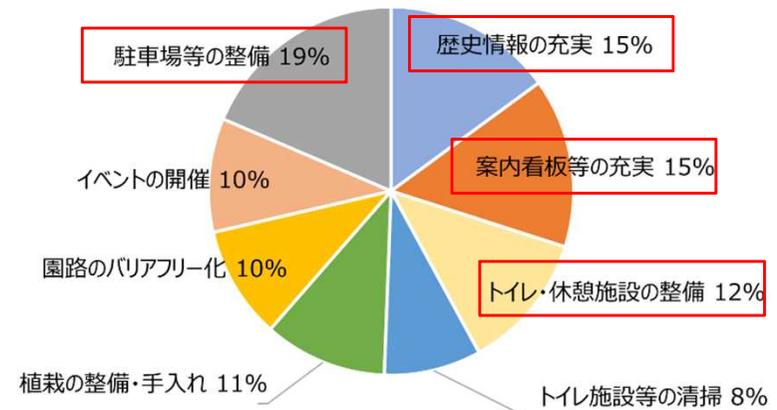
60歳以上が  
4割以上  
(70歳以上が  
2割以上)

【飛鳥周遊の交通手段】



自家用車と  
徒歩の合計  
が8割以上

【改善すべき項目】



出典：令和3年度  
利用実態調査結果

【改善を求める利用者意見】

【バリアフリー対応に関する意見】

急な階段に手すり等の設置をしてほしい (R3アンケート意見)

【駐車場の整備に関する意見】

駐車台数が少ない。二輪置き場も増やしてほしい (R3アンケート意見)

【歴史情報・案内看板等の充実に関する意見】

飛鳥時代の歴史や文化がよくわかる施設や展示があると良い (R3アンケート意見)

道標が少なくして何度も道に迷いました (R1ご意見箱意見)

【休憩施設に関する意見】

食事する場所を充実して欲しい。自動販売機が少ない (R3アンケート意見)

【管理者ヒアリング意見】

【駐車場の整備に関する意見】

・駐車場不足は、明日香村全体の課題である。

【休憩施設に関する意見】

・安満遺跡公園や、しだみ古墳群ミュージアムは、子育て施設や歴史ファン以外も日常的に集えるカフェがあったりするが、歴史側の視点だけでなくそういう空間 (多様性) もあったら良いと感じる。

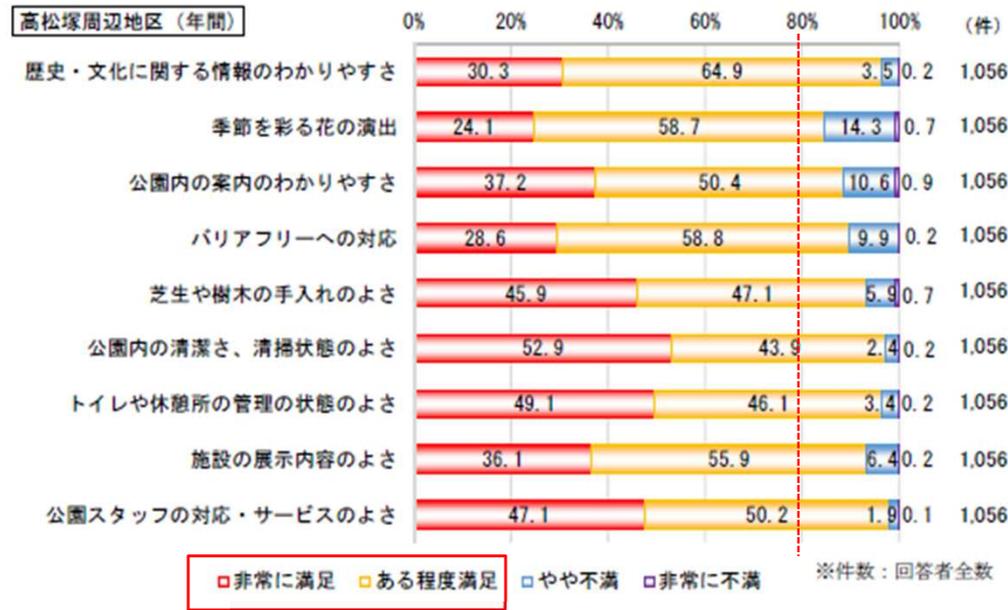
【その他の意見】

・景色を楽しむことを目的とした人の比率が下がっている。甘樫丘など、開けた眺望が特徴であったが、樹木の成長などで、そうした魅力が感じにくくなっているかもしれない。

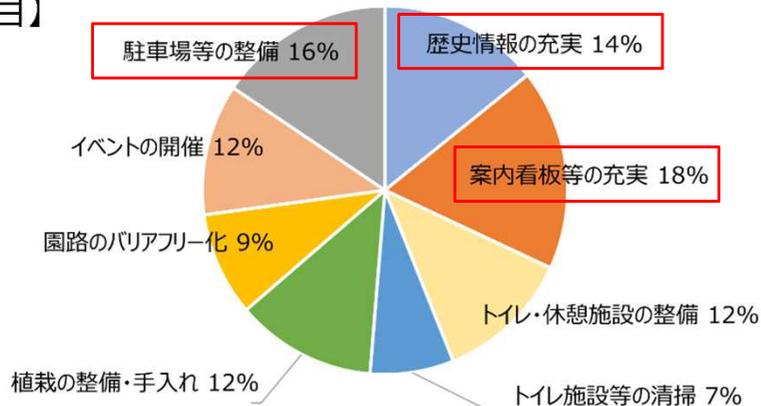
# 高松塚周辺地区の抱える課題

■すべてのアンケート項目において「非常に満足」と「ある程度満足」の合計が8割以上であるが、「案内看板等の充実」「駐車場等の整備」「歴史情報の充実」等ゲートウェイとしての機能充実を求める意見が多くなっている。管理者からは、上記の他に大人数の団体客への対応が課題として挙げられている。

## 【高松塚周辺地区 項目別満足度】



## 【改善すべき項目】



出典：令和3年度利用実態調査結果

## 【改善を求める利用者意見】

### 【案内看板等の充実に関する意見】

- 案内板がわかりにくいと観光客が迷っている事が多い。(R3ご意見箱)
- 高松塚の案内の大きな看板がない(R3ご意見箱)

### 【駐車場の整備に関する意見】

- 駐車場を大きくして欲しい。駐車場が分かりづらかった(R3アンケート意見)

### 【歴史情報の充実に関する意見】

- 他府県からの来訪者に歴史を分かりやすくしてあげて頂きたい(H31アンケート意見)
- 歴史に関する情報が詰まった歴史館みたいなものがあると、より興味深く見学できる。(R4アンケート意見)
- 周辺の史跡を集約して案内してくれる博物館。(R4アンケート意見)

## 【管理者ヒアリング意見】

### 【案内看板等の充実に関する意見】

- 道順等のわかり難さもあり(屋外広告規制の影響も含め)、公園館の受付案内人は日常的に道案内を行っている。

### 【駐車場の整備に関する意見】

- 春先は個人利用の駐車車が、秋は団体の大型バスが集中してオーバーフローする。

### 【歴史情報の充実に関する意見】

- 高松塚周辺地区は、飛鳥駅に一番近い地区であり、平城宮跡地区のいざない館のような機能、例えば飛鳥地域への旅(歴史の旅、里山めぐり)をいざなうような情報発信機能を強化したいと考えている。

### 【その他の課題】

- 事前予約の団体客はセミナーハウスを利用して頂いている。ただ100人とかになった場合はその受け皿としては難しい状況にある。